



- 1 庭園内に建つ茶室「楓居」
- 2 テラスに面して展望風呂
- 3 アラの唐揚げはさくさくと軽いのにしっとり舌に絡む
- 4 生のアラの甘い食感に下関春菜の清冽な香りが合う
- 5 やや厚みのある一枚引き。弾力と淡い甘みが引き立つ
- 6 有馬裕之が設計した、ペントハウス「サンチェーロ」

「劇場旅館」。そこには、「移ろいゆく川棚温泉の四季と時間を通して、あなただけの物語を紡いでください」というホテル側からのメッセージがある。旅人のために演出された「劇場空間」。その一つが実に鮮烈で印象的だ。

庭園の中に白く輝くモダンな茶室や、純和風の部屋の隣にふいと現れるペントハウス。長い渡り廊下を歩いてどこかに辿り着く度に、そこには美しい驚き待ち伏せている。

観客のつもりでいた旅人はいつか、自分が主人公になっていることに気づくだろう。

料理も、そのドラマにアクセントをつける。この季節には、下関南風泊市場に揚がる活きた国内産のみを使用した「とらふくフルコース」が人気だ。

フランスのピアニスト、アルフレッド・コクトーや放浪の詩人、種田山頭火が魅せられ、理想郷とした川棚。背面はなだらかな鬼ヶ城連山に囲まれ、前方は穏やかな響灘に面している。そのまろやかな大地に800余年の昔からラジウム泉がこんこんと湧き出す。劇場旅館は、そんな大自然の中に立地し、今日も旅人の新たな物語を紡いでいる。

山口県・川棚温泉

劇場旅館 川棚グランドホテル

住所：山口県下関市豊浦町川棚温泉

TEL：083-774-1111

http://www.kgh-otafuku.co.jp/

料：1泊2食1名¥16,800～

時：チェックイン4：00PM /チェックアウト10：00PM

室：51室 カード使用可

ACCESS：JR山陽新幹線・山陽本線新下関駅より車約30分（送迎あり）

中国自動車道下関ICより県道40号経由で車約30分

さまざまに演出された劇場空間で
旅人は物語の主人公になる